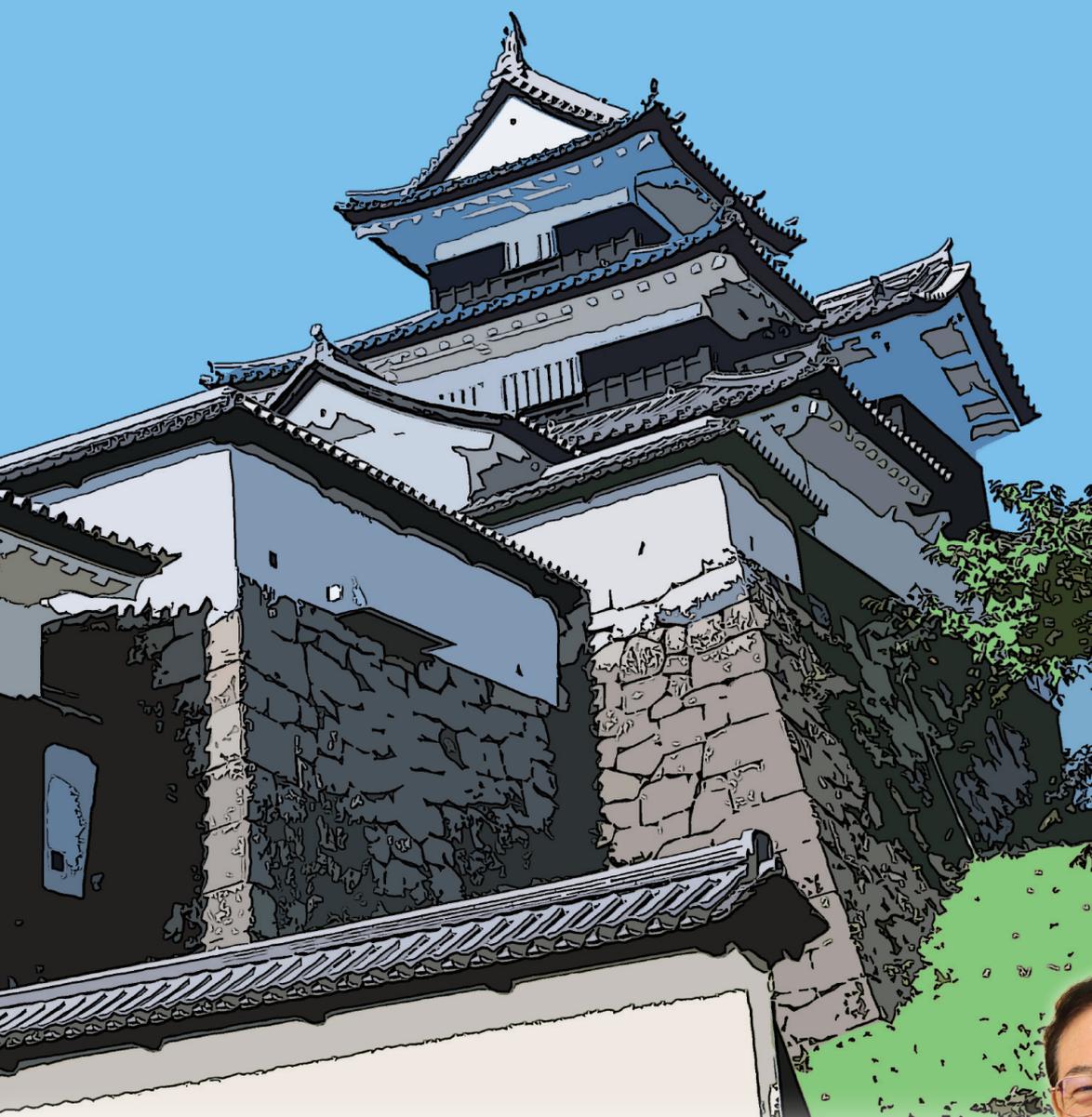


◎特集1 / 平成29年度施政方針

# 確かな手を打ち、未来を切り拓く

「施政方針」は、この1年間の市が進むべき方向を示すものです。今月号では、施政方針の中から、主な事業等について紹介します。



徳川4代将軍家綱の補佐役であり、会津藩の藩祖である「保科正之」は、明暦の大火の際、焼失した天守閣の再建よりも、道路の拡幅や河川の改修、さらには隅田川に橋をかけるなど、江戸の復興を大胆に推進しました。軍事防御を優先した都市づくりから、経済の発展や民生の安定へと転換を図った正之は、徳川幕府の基盤を確立した名君と言われております。日本は今、少子化や超高齢化、格差の拡大など、多くの困難に直面しております。しかし、前例や既成概念にとらわれることなく、目の前の課題に正面から向き合い、大局的見地から確かな手を打っていけば、必ず道は切り拓けるものと考えております。未来に向かい、強い意志を持って進んでまいります。

白河市長 鈴木和夫





## 教育・文化・生涯学習

全ての子どもが等しく教育を受けることや文化・スポーツに触れるための支援を推進します



- ◆学校司書の配置を拡充し、読書学習を推進するとともに、土曜学習推進事業の実施箇所および回数を増やします。
- ◆給付型奨学金の対象人数を拡大します。
- ◆引き続きコミネスでの多彩な事業と中学生を対象とした質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供します。
- ◆小峰城跡の本丸西面、雪見櫓、帯曲輪北面などの石垣積み替えを行います。

## 安全・安心

市民の暮らしを守るため、防災・減災対策、消費者問題への対応、除染対策等を推進します



- ◆放射線量の低減および安全性を確認するため、市内全域で事後モニタリング調査を継続します。
- ◆中間貯蔵施設の早期完成と除去土壌等の円滑な搬出を国や県に要望します。
- ◆消防車両や屯所の計画的な更新と災害に備えた食糧の備蓄を行います。
- ◆消費者被害の相談体制を充実させるため、本庁舎内に「消費生活センター」を設置します。

## 都市基盤

快適で利便性の高い都市環境の整備を推進します



- ◆国道294号バイパス整備のための用地取得や東北自動車道交差点部分の改良工事を促進します。
- ◆小南湖の園路整備や旧脇本陣柳屋旅館の修復などを行い、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進します。
- ◆居住人口の増加に向けて、民間が取り組む共同住宅の整備を支援します。
- ◆地域公共交通の利便性向上のため、循環バスの日曜・祝日試験運行を実施します。

## 健康・福祉・医療

子育て支援や子どもの貧困対策等を推進します



- ◆「おもてごう保育園」を増築するほか、新たな小規模保育所の開園に向けた準備を進めます。
- ◆病気の治療中または回復期の子どもを一時的に預かる「病児保育施設」を白河厚生総合病院の敷地内に整備します。
- ◆「子どもの居場所づくり」を行う団体やひとり親家庭への支援を充実します。
- ◆健康づくりを支援するため、「いきいき健康マイレージ事業」や「へる塩チャレンジ塾」などを行います。

## 環境・コミュニティ

定住人口の増加や地域おこしに向けた取り組みを推進します



- ◆地域コミュニティ強化のため、集会所を計画的に整備するとともに、町内会の自主的な活動を支援します。
- ◆街なかの空き家を活用した「コミュニティ・スペースエマノン」を充実し、若者の自由な発想によるまちづくりへの参加を支援します。
- ◆本市に一定期間住んでいただく「お試し居住」に取り組むとともに、「空き家バンク」の活用を進めます。
- ◆三世同居・近居を始める世帯への支援を継続します。

## 産業・雇用

観光資源を活かした交流人口の拡大や雇用・就労環境の充実等を推進します



- ◆地元企業の情報発信、インターンシップの受け入れにより、若者の地元への移住を促進します。
- ◆産業サポート白河や関係団体と連携し、女性が働きやすい環境づくりを進めます。
- ◆白河産米の消費拡大のため、地産地消やブランド化を推進します。
- ◆インバウンドを誘致するため、旅番組の制作やモニターツアーを実施します。